令和７年10月

将来にわたって谷相集落で生活できる仕組みの実現を！

【類　　型】農業機械の共同利用 ＋ 水稲作業受託

【組　織　名】谷相地区集落営農組合
（平成21年３月設立）
【所　　在】高知県香美市香北町
【農業地域類型】山間農業地域
【構成戸数・人数】21人
【経営規模（令和６年度実績）】

谷相集落営農組合農舎

作業受託
防除 ： 6.3ha
乾燥・調整・籾摺り ： 958袋
収穫（稲刈・脱穀） ： 4,47ha

設立の経緯

○谷相地域は、地区外からのＩターン移住者が積極的に地域活動に参加し、まとまりのある地域である。
○谷相集落協定として、中山間地域等直接支払交付金制度に取り組み、集落協定参加者の概ね８割が構成員となっている。
○平成19年12月に米の有利販売を目指すため、水稲栽培研究会が組織され、水稲の減農薬栽培に取り組み始めた。
○平成20年８月に、水稲の生産性向上と農家経営の安定化のため、農作業機械の効率的利用を目指して、作業受託組織に必要な機械や規約、料金等について検討を始めた。
○平成21年３月に集落営農組織を設立し、「こうち型集落営農モデル集落」として選定された。
○水稲栽培研究会以外に、農作業部会、アジサイ栽培研究会、直販部会が設置された（直販部会、アジサイ栽培研究会は活動休止中）。

取組の特徴・効果

○組織として、水稲の防除、収穫、乾燥・籾摺りの作業を受託している。
○令和５年に、ハンマーナイフモアを購入し、草刈り作業の受託も開始し、耕作放棄地対策を始めた。
○組織内のオペレーターも増員し、定期的に会合も実施し、機動力を生かせる組織になっている。
○組織として、今後の機械更新用の資金を貯めている。
○主食用米として、「にこまる」、「ヒノヒカリ」、「黄金錦」等が作付けされているが、令和５年からは主食用米以外に、酒米「吟の夢」も導入されている。

【具体的な取組内容】

役員体制	組合長1名、副組合長1名、機械オペレーター担当2名、園芸品目担当1名、直販担当1名、会計1名、監事2名

谷相地区集落営農組合
≪将来の姿≫

◇集落ビジョンの達成
◇水稲機械類の共同所有
◇園芸品目への取り組みによる所得向上

→ **谷相集落の維持･発展**

農作業部会	水稲栽培研究会	アジサイ栽培研究会	直販部会
H20年8月（設立）	H19年12月（設立）	H20年8月（設立）	H20年7月（設立）
作業受委託	谷相米栽培暦検討 エコファーマー取り組み	新規園芸品目の導入検討	直販向け品目導入と生産拡大

大阪経済大学教授による
組織活動に関する調査

棚田の広がる谷相地区

狭隘なほ場の収穫風景

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力	導入事業名等	導入年度
ラジコン動噴（アリミツ　ATC855MPR3）	40L/min、8ps、5.0MPa、3Ch	中山間地域集落営農等支援事業	H21
乾燥機（イセキ　GA100R2）	10石	中山間地域集落営農等支援事業	H21
乾燥機（イセキ　GA100R2B）	20石	中山間地域集落営農等支援事業	H22
農舎	木造平屋建　99㎡	中山間地域集落営農等支援事業	H22
籾搬送機（タイショー　WA10T-H30M2）	1,300L	集落営農・拠点ビジネス支援事業	H23
米袋リフター（LU-203）	重量制限35kg	自己資金	H25
籾摺機（サタケ　NPS450FXAM）	4インチ	自己資金	H25
軽量選別機（サタケ　NPA32BV）	600-1920kg	自己資金	H25
乾燥機（イセキ）	21石	自己資金	H27
石抜機（サタケ　とるストーンEGA30C）	1800kg/h	自己資金	H29
コンバイン（クボタ）	2条刈　20PS	自己資金	R1
乾燥機（サタケ）	25石	自己資金	R1
籾受ホッパー（タイショー　LHG-30C）	9～13t/h	自己資金	R1
ハンマーナイフモア	8PS	自己資金	R5
農機倉庫（パイプハウス）	6m×7.5m＝45㎡	自己資金	R5
フォークリフト	1.5t	自己資金	R6
コンバイン（クボタ）	2条刈　13PS	自己資金	R6

【課題・今後の取組】

〇地域の高齢化に伴う水田の放棄地化対策（田植は個人が受託）
〇組合所有機械の修繕・更新　　〇農舎等の維持、修繕
〇水路の修繕、維持管理　　〇鳥獣害対策（イノシシ・シカ等、柵等の設置）
〇組織の担い手（役員、オペレーター等）の後継者確保